

2014年7月21日 G TMプロジェクト報告

2014年7月21日に大阪大学中之島センターにてG TMプロジェクト「アーヘン工科大 ExectiveMBA チームとの交流会」を開催しました。

*大阪大学工学研究科 田中敏宏研究室が共催してくださいました

参加者はアーヘン工科大から引率の Petersen 教授をはじめ17名、テクノ未来塾からは12名で、またオブザーバーとして東京都市大学講師 桃沢愛先生が参加されました。

交流会の発表内容は以下の通りです。

Opening remarks and introduction of Techno Mirai-Juku

Stephan Petersen (アーヘン工科大)

宗像 基浩 (三菱樹脂 / G TMプロジェクトリーダー)

Introduction of Executive MBA der RWTH Aachen University

Mr. Walter Pijls (Ford research centre Aachen GmbH)

Mr. M. Barghoorn (Flowserve Hamburg GmbH, Flowserve AG)

Presentations by Techno Mirai-Juku and discussions

- (1) “Crises in technological transmission & market sustainability
-Impediment to manufacturing management in OSAKA-”

福井 清 (日鉄住金テクノロジー)

- (2) “A Japanese Engineer : Struggle in India”

深作 伸一 (三菱重工業)

- (3) “Global R&D Activity”

-R&D with US and Germany R&D members in Plastic Film Business-”

宗像 基浩 (三菱樹脂)

今回の交流会では、テクノ未来塾の塾生のポテンシャル つまりグローバルな視点で技術を語ることを示したと同時に、世界の技術者との交流によって新たなチャレンジができる可能性を示すことができたと思います。

ただし、技術をどのように活用していくのか？それについての議論はまだハードルが高いですが、継続すれば技術を生かして豊かな社会構築にグローバルな視点で役立てることができるようになると思います。